

2020年第7回世界自然保護会議 (IUCN World Conservation Congress)の 誘致活動を通じた愛知ターゲットの達成に 資する活動底上げとプラットフォーム構築(3年目)

〒104-0033
東京都中央区新川1-16-10
ミトヨビル2F
電話:090-8426-1257
E-mail: mail@iucn.jp
http://www.iucn.jp http://bd20.jp/



ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発



日中韓IUCN委員会合の様子①

日中韓会合の成果文書

1式

にじゅうまる宣言数

747宣言

今年度計画の達成度

100%

活動の全体目標に対する達成度

100%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

日中韓IUCN委員会合は、団体として初めて国際会議をホストした。招聘のしつこきと並行しながらプログラム構成検討をする必要があり、ソフト面とハード面の両立に苦労した。

■ 工夫した点

イベント毎に、頼もしい共催先と連携しながら事業を実施する事が出来たおかげで、リソースの不足を補いながら進めることが出来た。

課題

- ①愛知ターゲット達成を呼びかける仕組みの欠如
- ②愛知ターゲット達成に対する民間参画の機会の不足
- ③ポスト愛知ターゲットを見据えたアジアや世界との連携に向けた準備

目標

- 2020年を機会とした日中韓の連携の構築
- 2017年12月までに680件のにじゅうまる宣言を集める(2020年末に2020宣言を達成する。)

活動内容と成果

10月14日～16日に、石川県にて日中韓IUCN委員会合を開催した。テーマは「生物文化多様性」と「次世代(ユース)育成」とした。協力関係の成果文書を作成するワークショップを実施し、成果文書を作成した。成果文書はウェブサイトに掲載した。文書内には、今後実施していく事業の内容なども記載した(達成度:100%)。

にじゅうまる宣言は、747宣言(2018/3/31現在)となり、アウトカムの目標を達成した(達成度109%)。



にじゅうまるCOP3の様子

全助成期間の活動を振り返って

3年間の活動を通じ、今まで全く事業ベースで付き合いのなかった動物園水族館や企業(特に電機・電子業界)との協働体制が確立された。また、日中韓委員会合の開催などを通じ、日中韓を中心とする東アジアの連携体制が確立された。

また、若手プロジェクトリーダー研修の内容などを受け、団体自体の事業振り返りや基盤整備を並行して進めることが出来た3年間であった。



日中韓IUCN委員会合の様子②

今後の展望

愛知ターゲットの達成に向けた全国の活動のネットワーク拡大、生物多様性条約COP15開催予定国の中国やCOP12開催国の韓国との連携関係構築などの、3年にわたる活動の成果を踏まえ、2020年に向けた活動の発展、とりわけ、国連生物多様性の10年の評価と、時期目標への日本の市民からのインプットに注力を行いたい。